



平成27年10月22日

呼子大橋に「道路メンテナンス技術集団」を派遣

～地方公共団体管理の老朽橋梁に対する直轄診断（九州初！）を実施～

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。

そこで、国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について直轄診断※を実施しております。

九州地方整備局では、九州初となる直轄診断作業の一環として佐賀県唐津市管理の呼子大橋において、下記のとおり道路メンテナンス技術集団による直轄診断の現地作業を開始しますので、お知らせします。

記

日時：平成27年10月26日（月）13時30分～

場所：呼子大橋（佐賀県唐津市呼子町殿ノ浦）橋長728m

道路メンテナンス技術集団：

九州地方整備局 道路部 道路保全企画官 甲斐 浩己 他

〔九州地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成〕

〔添付資料〕

直轄診断(※)【別紙1】

呼子大橋の概要【別紙2】

市道呼子大橋線（呼子大橋）の路線の位置づけ【別紙3】

※報道関係者の皆様へ

- ・当日の取材及び撮影は可能です。
- ・当日取材される予定の方は、別途「当日の流れ」をお知らせ致しますので、別紙4「送信票」に記入の上、10月23日（金）12時までにて下記FAX宛に送付をお願いします。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 TEL：092-471-6331（代表） FAX：092-476-3481

道路部 道路保全企画官 甲斐 浩己（内線4121）

道路構造保全官 安仲 努（内線4122）

佐賀国道事務所 TEL：095-232-1151（代表）

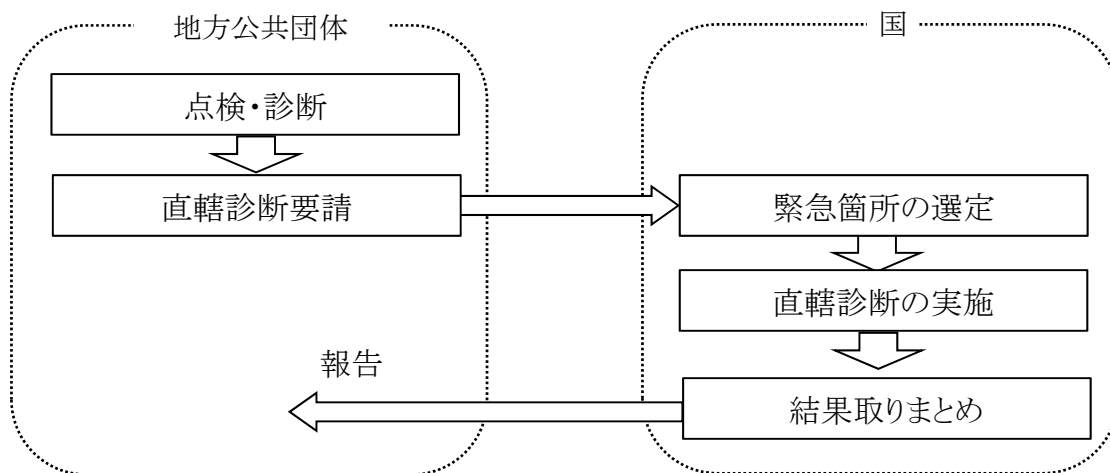
技術副所長 野尻 浩人（内線205）

【※直轄診断】

「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等)に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

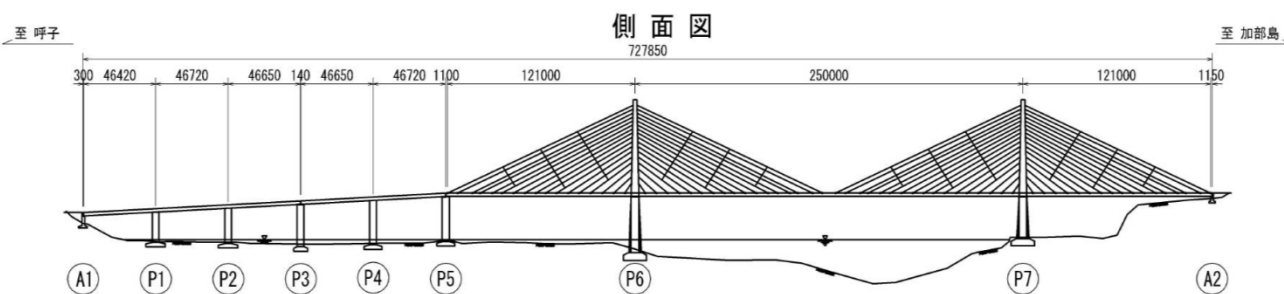
なお、直轄診断の成果については、九州地方整備局職員の技術力向上のためデータ等を蓄積し、活用を図ります。

【全体の流れ】



呼子大橋の概要

別紙2





- ◆呼子大橋は、加部島と九州本土を結ぶ橋長728mの橋梁。
- ◆加部島の住民にとって、九州本土との唯一の連絡道路。
 - ・加部島世帯数：165世帯569人（平成27年10月現在：唐津市HPより）
- ◆加部島は玄海国定公園に指定されており、観光周遊ルートの一部。
 - ・観光地 風に見える丘公園、田島神社、佐用姫神社（望夫石）
 - ・特産品 剣先イカ、甘夏、甘夏ゼリー、佐賀牛

送 信 票

当日の取材にあたってのお願い

取材にあたりましては、10月23日(金)12時00分までに、下記ご記入のうえ、本状のFAXをお願いします。

【記】

国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路管理課 行
(FAX:092-476-3481)

住所 〒

会社名

部署

取材者氏名

TEL

メールアドレス

※こちらから連絡させていただく場合があります。連絡がとれる電話番号を記入ください。